

魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内海域><1/2>

(データ集約：6/29)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
アイナメ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年6月14日	18	32	50
カナガシラ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年6月14日	4.9	13	17.9
キアンコウ(全体)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年6月14日	12	19	31
ババガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年6月14日	14	31	45
ヒラメ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年6月14日	7.9	16	23.9
マアジ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年6月14日	5.1	8.6	13.7
ミズダコ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年6月14日	ND	ND	ND
ヤナギダコ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年6月14日	ND	ND	ND
アイナメ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	6.1	9.3	15.4
カナガシラ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	13	18	31

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.6Bq/kg(生)、Cs-137が約4.4Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

※ 分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内海域><2/2>

(データ集約: 6/29)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
キアンコウ(全体)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	5.8	8.7	14.5
ケムシカジカ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	16	27	43
ジンドウイカ(全体)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	ND	ND	ND
ババガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	16	27	43
ヒラメ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	10	21	31
マアジ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	4.8	5.9	10.7
マガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	5.2	8.3	13.5
マコガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	53	82	135
ヤナギダコ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	ND	ND	ND

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.4Bq/kg(生)、Cs-137が約4.8Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

※ 分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類サンプル写真（平成24年6月14日採取）

～小高区沖合15km付近（T-B1）・請戸川沖合18km付近（T-B2）～

1. アイナメ



2. カナガシラ



3. キアンコウ



4. ババガレイ



5. ヒラメ



6. マアジ



7. ミズダコ



8. ヤナギダコ



9. ケムシカジカ



10. ジンドウイカ



11. マガレイ



12. マコガレイ

